

## 迎春

### 年頭のご挨拶



#### 徳田会長、羽鳥会長ご挨拶



徳田会長



羽鳥会長

皆様、明けましておめでとうございます。

20世紀後半は、インターネットやモバイル通信の飛躍的發展に代表されるように情報通信の世界はコンピュータ・通信・放送等の融合が進み、また、第3世代モバイル通信に係わる世界標準化も進展を見るなど21世紀の次世代ネットワーク社会構築を目指した活動が活発に進められています。

現在、その発展に貢献すべくYRPでは、IMT-2000、ITS、成層圏無線通信、MMAC、ミリ波移動体通信等の次世代に向けた研究や、それらのベースとなる産学官連携、国際交流、人材育成などの活動が次第に活発化しつつあります。

20世紀最後の年である本年、YRPが、来る21世紀の高度情報社会に貢献する大きな成果を生み出す記念すべき年となる事を確信しているところであります。

研究開発協議会及び推進協会は、皆様方が多大の研究成果をあげられる事を願い、YRP創設の理念実現に向け、諸活動をますます充実拡大する所存であり、皆様方のお一層のご支援ご協力をお願いする次第であります。

このミレニアムの記念すべき年が会員及びYRP関係者にとり、実り多い年となる事を祈念して新年のご挨拶といたします。

平成12年元旦

横須賀リサーチパーク推進協会

会長 徳田 修造

横須賀リサーチパーク研究開発協議会

会長 羽鳥 光俊

#### 大森代表幹事ご挨拶



大森代表幹事

あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

YRPの開発計画から10余年。集積機関は40、昼間の人口も2500名に達している現在のYRPの活況をご覧になり、これまで計画推進にご尽力されました諸先輩の皆様方の感慨もひとしおのことと存じます。

さて、YRP研究開発協議会の活動も皆様のご支援をうけまして、会員数も71機関に増加し産学官連携プロジェクトの推進支援、各種国際会議、講演会、セミナー等の開催と順調に拡大してきております。本年は、平成9年10月のYRP開設から3年目となります。YRPにとりましては、基盤整備の段階から研究開発の推進へ重心を移行していく重要な年となります。

本年も皆様の一層のご支援によりまして、YRPが文字通り世界のYRPへ飛躍するよう、当協議会の活動を進めてまいりたいと思います。

郵政省通信総合研究所 横須賀無線通信研究センター  
センター長 大森 慎吾

## 横須賀リサーチパーク研究開発協議会コーナー

横須賀リサーチパーク研究開発協議会等が今後、開催を予定している主なイベントは以下のとおりです。詳細は、YRPニュースやYRPホームページ等でご案内させていただきますが、講演会等については積極的にご参加下さいますようお願いいたします。

なお現在、YRPホームページのリニューアルを計画しておりますので、詳細は別途ご連絡いたします。

開催日	イベント内容
1月24日～28日	アジア移動体通信ワークショップ 於:シンガポール、マレーシア、タイ
2月 3日～ 4日	情報処理学会モバイルコンピューティング研究会
2月17日～19日	電子情報通信学会移動通信ワークショップ
2月24日～25日	次世代端末キーデバイスシンポジウム
3月	関西地区YRP産学官連携セミナー(京都リサーチパーク等とも連携)
3月11日～12日	最先端の情報通信フェア2000
3月13日	電子情報通信学会 Moumac研究会
3月23日～24日	ミリ波国際シンポジウム

### 共同研究グループ「中間報告展示会」の開催



昨年の12月15日にYRPで行われている共同研究グループの中間報告展示会が開催されました。実施主体は「モバイルマルチメディアアプリケーション共同研究グループ」の「Security & Billing」と「64kbps PHSワイヤレスエージェントアプリケーション」の2つのサブグループで、それぞれ将来のネットワーク社会に向けた新しいアプリケーションを、YRP1番館エントランスホールにてデモンストレーションを行いました。見学者は遠方から駆けつけた人も多く、会場は熱心な質問と活発なディスカッションが続き盛況でありました。

今回、報告した共同研究の参加企業と実演した研究テーマ名は以下の通りです。

- 「モビリティ・セキュリティ・課金システムを有するワイヤレスインターネットの研究」  
参加企業： NOKIA、NTT、富士通、セイコーエプソン、京セラDDI
- 「ワイヤレスエージェント通信によるモバイル介護ガイダンスシステムの研究」  
参加企業： 神戸製鋼所、NTT DoCoMo、沖電気工業

### オルボー大学プラサド教授の特別セミナー開催

情報通信の研究者として世界的権威でありヨーロッパでの次世代情報通信の中心的推進者であるデンマーク オルボー大学教授 プラサド博士が、昨年の12月来日され、6日にYRPで半日セミナーが開かれました。演題を「Wireless Multimedia Communication Based on OFDM Technologies」とする特別セミナーには多くの研究者が集まり、受講した研究者からは「世界的な権威者から直接先端技術の講義を受けることができ大いに啓発された」との感想が聞かれました。



### 「YRP次世代端末キーデバイスシンポジウム」のプログラム内容固まる

先の第6号でご案内した本年2月24日～25日に開催されるIMT-2000の端末に係わるキーデバイスシンポジウムは講演者とプログラムの内容がほぼ固まり、近く告知活動が開始される状況となっています。各セッションの講演者は海外から参加される2人の講演者を含め、それぞれの分野の最高権威者をお願いしており、最先端技術の講演が予定されています。

◎ 講演内容・基調講演「IMT-2000携帯情報端末」 /キア・ジャパン R&D 3rd Generation 開発部長 Erkki Tiittanen 氏  
・技術講演「DSPとμプロセッサの将来」 テキサス・インスツルメント TI Fellow Director Michael L McMahan 氏  
上記以外に、端末キーデバイスに関する各11のセッションを予定しています。

## 横須賀リサーチパーク推進協会コーナー

### 参議院 交通・情報通信委員会ご一行の視察

昨年の11月30日(火)に、参議院 交通・情報通信委員会の齋藤委員長をはじめ11名の方々が、通信総合研究所、NTTドコモR&Dセンタ、YRPセンター1番館等をご視察されました。



### 「最先端の情報通信フェア2000」の開催案内

当推進協会では、情報通信業界に高い関心を寄せている理系大学生・大学院生及び社会人を対象に、「横須賀リサーチパーク」の認知を広げると共に、情報通信の最新技術動向・採用動向に関する理解を深めてもらうことを目的に「最先端の情報通信フェア2000」を開催します。なお、概要は以下のとおりです。

日 程	3月11日(土)、12日(日)
場 所	横須賀リサーチパーク YRPセンター1番館内 YRPホール 他
主 催	横須賀リサーチパーク推進協会、株式会社キャリアデザインセンター
後 援	横須賀リサーチパーク研究開発協議会、株式会社横須賀テレコムリサーチパーク
協 賛	国内外の情報通信関連企業約30社(交渉中)
内 容	企業紹介ブース、個別企業説明、国内有力企業・団体トップによる特別講演、施設見学ツアー
来場予定数	2日間で2000名程度(見込み)

## (株)横須賀テレコムリサーチパークコーナー

### クリスマス会の開催のお礼とお知らせ



去る、12月17日 YRPセンター1番館でクリスマス会を開催しました。業務が輻輳していて参加は難しいと言った声や、12月中旬しかも週末とあって別件のスケジュールが入っている企業があるなど厳しい状況の中、延べ400人近い参加者があり、関係者一同大変喜んでおります。当日は、コンサートを中心に参加型のゲーム大会、大抽選会と大変楽しい雰囲気の中で幕をとじました。

今回のクリスマス会は、昨年の9月にYRP連絡会が発足して初めての事業であり、しかも12社に及ぶ企業の方々にご協力いただき企画・運営を実行委員会により行ってまいりました。何分、素人の集まりですから全ての面で行き届かない点が多々あったかと思えます。

特に、スケジュール管理の面で全体的に押してしまい、フィナーレが予定より30分以上もズレ込んでしまい皆様に大変ご迷惑をおかけしたかと思えます。今後の反省材料にしたいと思えます。

こういう中で、企画、準備、当日の運営に当たりご協力をいただきました実行委員の方々に厚くお礼を申し上げますと共に、クリスマス会の開催に当たりまして、資金的なあるいは商品のご提供などの面でご協力をいただきました企業に対しまして、この紙面をお借りして重ねてお礼申し上げます。大変ありがとうございました。

YRP交流の輪をますます広げるため、今後も様々な事業を実施してまいりますので引き続き、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

なお、1月12日午後5時からローズテリアにおきまして、YRP地区の賀詞交換会の開催を予定しております。すでにご案内をしておりますが、まだ出欠のご連絡をいただいていない企業は、ご連絡をお待ちしています。

【連絡先】 (株)横須賀テレコムリサーチパーク 総務部: 米沢 (Tel) 47-5000 (Fax) 47-5010

YRP連絡会 代表 (株)YRP 代表取締役専務 齋藤 實

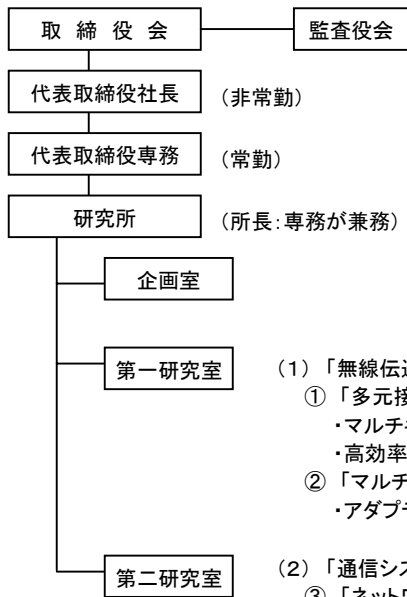
## 研究所紹介コーナー

このコーナーでは、YRP地区に進出されている研究機関を毎回1～2機関取り上げ紹介しています。今回は、株式会社ワイ・アール・ピー移動通信基盤技術研究所を紹介します。

### 株式会社ワイ・アール・ピー移動通信基盤技術研究所

(株)ワイ・アール・ピー移動通信基盤技術研究所は、特別認可法人基盤技術研究促進センターと民間19社の共同出資による研究開発会社で、「高速・高品質の移動通信システムに向けた無線伝送技術と通信システム技術の研究開発」を行うことを目的に1995年3月に設立され、2002年3月までの7年間研究開発を行います。

IMT-2000に続く第4世代移動体通信システム(2010年頃の実用化を想定)に対する基盤技術を確立するとともに、国際標準化にも積極的に寄与して行くことを目的としております。



組織と主な研究テーマは図のようになっており、19の民間出資会社、郵政省通信総合研究所からの出向者および外国人研究者が研究活動を行っております。

民間出資会社は、NTT移動通信網(株)、沖電気工業(株)、ソニー(株)、(株)東芝、日本電気(株)、(株)日立製作所、富士通(株)、松下通信工業(株)、三菱電機(株)、国際電気(株)、三洋電機(株)、シャープ(株)、住友電気工業(株)、東洋通信機(株)、日本ビクター(株)、日本無線(株)、日立電子(株)、(株)フジクラ、古河電気工業(株) となっております。

#### (1) 「無線伝送技術の研究」

##### ① 「多元接続の研究」

・マルチキャリアCDMA方式の研究 ・同期方式の研究 ・パケット伝送方式の研究  
・高効率・高品質伝送方式の研究

##### ② 「マルチパス分離／合成技術の研究」

・アダプティブアレーの実証実験 ・耐干渉アレー信号処理技術の研究

#### (2) 「通信システム技術の研究」

##### ③ 「ネットワーク構築技術の研究」

・ネットワーク構成方法、接続制御方法の研究、移動体トラヒック特性の研究

##### ④ 「無線システム構成技術の研究」

・高速移動体を収容するセル構成法／適応制御技術の研究 ・高効率パケット伝送方法の研究 ・高速移動端末でのマルチメディア情報受信技術の研究

##### ⑤ 「電波伝搬の研究・モデル化」

・伝搬損失、遅延プロファイル測定 ・マルチパス到来方向の測定

研究の進め方としては、出資会社との研究協力や郵政省通信総合研究所との共同研究のほか、多くの大学とも連携しながら研究を推進しております。設立以来、間もなく5年が経過しますが、これまでの成果は

特許	* 国内出願 121件	* 国内登録 67件
	* 海外出願 8件	* 海外登録 4件
学会発表	* 国内学会 132件	* 国際会議 76件
		* 論文 29件

となっております。これからも優秀な特許を出願するとともに、国内外の学会に多くの研究成果を発表して客観的な批判を頂き、第4世代に必要な技術の蓄積を重ねる所存であります。

(本頁の紹介文は、(株)ワイ・アール・ピー移動通信基盤技術研究所よりご提供頂いたものです。)

編集・発行 横須賀リサーチパーク推進協会

〒239-0847 横須賀市光の丘5 TEL:0468-40-4100 FAX:0468-40-4101

横須賀リサーチパーク研究開発協議会

〒239-0847 横須賀市光の丘3-4 TEL:0468-47-5008 FAX:0468-47-5010

(株)横須賀テレコムリサーチパーク

〒239-0847 横須賀市光の丘3-4 TEL:0468-47-5000 FAX:0468-47-5010 <http://www.yrp.co.jp>